

# 福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会

## 久留米市国民健康保険における

### 差額通知事業等の

### 普及活動について



平成27年3月24日(火)

1

久留米市 健康福祉部 健康保険課



# 本日の内容

---



- I これまでの取組状況
- II 被保険者からの意見及び要望
- III 久留米市国保の課題と今後の取組み



# I これまでの取組状況

## 久留米市国民健康保険のおもな取組み

### 1. 被保険者に対する差額通知書の送付

(平成21年9月～)

### 2. ジェネリック医薬品希望カードの送付

(平成21年9月～)

### 3. 様々な広報媒体を活用した普及・啓発



# I これまでの取組状況

## 1. 被保険者に対する差額通知書の送付

### (1) 現在(平成27年2月時点)の通知対象者の要件

- ・削減効果額100円以上を通知対象候補とし、削減効果額上位300名に送付。

※631.5円(平成26年度月平均)以上の自己負担額の軽減が見込まれる方

#### (★送付除外要件)

- ・前回送付から6ヶ月未満の方
- ・過去3回以上通知の方
- ・申し出等により通知を希望しない方

効果性を考慮し、通知対象を調整しながら実施



# I これまでの取組状況

## (2) 通知書の発送状況

通知期間	発送枚数	
平成21年度	⇒ 12,298枚	(A)
平成22年度	⇒ 17,980枚	
平成23年度	⇒ 15,073枚	
		NTTデータ↑
平成24年度	⇒ 3,600枚	(B)
平成25年度	⇒ 6,000枚	
平成26年度	⇒ 5,700枚	

**合計 ⇒ 60,651枚**

### 発送枚数減の理由

H21~23年度で、対象世帯にほぼ発送済み。ジェネリック医薬品の認知度は高まった。

この状況を踏まえ、**効果的な認知度と切替率の向上を図るため、平成24年度以降、発送枚数を調整しているもの。**



# I これまでの取組状況

## (3) 切替者数(調剤、医科合計)

久留米市国保 (A) 判明分	4,488人 (H23年度まで)
(B) 累計	2,867人 (H27年2月末最新データ)
福岡県国保	累計 85,594人 (H27年2月末最新データ)
福岡県	累計 183,682人 (H27年2月末最新データ)

※後発医薬品普及促進支援システムより抽出

## (4) 切替率(切替者数累計÷総通知者数)...調剤、医科合計

久留米市国保 (B期間のみ)	33.0% (H27年2月末最新データ)
福岡県国保	27.1% (H27年2月末最新データ)
福岡県	33.1% (H27年2月末最新データ)

※後発医薬品普及促進支援システムより抽出



# I これまでの取組状況

## (5) 普及率(数量ベース、調剤・医科合計)

久留米市国保	旧普及率	39.0%	新普及率	59.6%
福岡県国保	旧普及率	37.0%	新普及率	54.9%
福岡県	旧普及率	36.8%	新普及率	53.1%

※後発医薬品普及促進支援システムより抽出 (H27年2月末最新データ)

## (6) 薬剤費削減効果額(H26年12月診療分)

久留米市国保	⇒	47,738,595円
福岡県国保	⇒	705,590,343円
福岡県	⇒	1,652,887,180円

※後発医薬品普及促進支援システムより抽出(H27年2月末最新データ)



# I これまでの取組状況

## 2. ジェネリック医薬品希望カードの送付

### ○ジェネリック医薬品 希望カードの送付

**保険証更新時(年1回)  
及び新規加入時に、送付  
もしくは窓口配布**



宛名欄

希望カード

保険証





# I これまでの取組状況

## 3. 様々な広報媒体を活用した普及・啓発

← 広報くるめに折込配布

医療費適正化について特集号を企画し、発行。

<その他>

・口座振替勧奨時にジェネリック活用のお知らせ

・保険証更新時に、リーフレットにてジェネリック医薬品活用の広報

・医療費通知の裏面にジェネリック医薬品の紹介

**国民健康保険だより**

**実質的赤字！ 国保財政**  
～一人ひとりが安心して暮らせるまちづくりのために～

国民健康保険は、病気やけが、出産などにおいても、安心して暮らすために欠かせない制度です。主に社会保険の加入者等を除く久留米市にお住まいの方が加入し、加入者（被保険者）が支払う保険料と国や県の交付金などから運営して、必要な医療費をまかなう仕組みです。しかしながら、平成28年度は、高齢化等により増え続ける医療費に対し、これまでに積み立てた基金（貯金）を約5億4千万円取り崩し、**実質的には「赤字」という厳しい財政状況**となっています。赤字の状態が続くと保険料の見直しを行うこととなります。

●医療費総額は約285億円、一人当たりの医療費は約35万4,000円。  
市国保の医療費総額は平成25年度は約285億円でした。平成21年度と比較すると約2.9%、金額で約7億3,000万円増加しています。  
また、一人当たりの医療費は、平成21年度は約23万円だったものが、平成25年度には約35万4,000円に増加しています。  
これは、市国保の加入者の高齢化や医療の高度化のほか、生活習慣病有病者の増加などが主な理由と考えられます。

① 納期内の納付をお願いします ※国民健康保険の歳入の約2割は保険料です※  
保険からの給付を確保を行うために、納付義務者の皆さまには納期内に保険料のお支払いをお願いします。そのためには、「口座振替」が便利ですので是非ご利用ください。また、納付書で納期内にお支払いいただく場合は、24時間利用可能な「コンビニエンスストア」でもご利用いただけます。

② 確かめよう！ 自分の医療費  
毎月毎に、ご家族ごとにかかった医療機関名や医療費について「医療費のお知らせ」をお送りしています。実際にどの程度かかっているかとも、記録が正しく記載されているか、ご確認ください。

③ 「ジェネリック医薬品」を使っていますか？  
「ジェネリック医薬品」とは新薬の特許が切れてから作られた薬で、有効性や安全性について基本的に違いありません。新薬に比べて開発費を抑えられるため、安価に作ることができます。「ジェネリック医薬品」は、医療費だけでなく、自己負担を減らすことにもなります。市では、保険証と一緒に右図のようなカードをお渡ししております。「ジェネリック医薬品」を利用したいときは、かかりつけ医や薬剤師にご相談ください。

④ 真正受診心がけましょう  
かかりつけ医をもち、同じ病気でも重複受診は控えます。診療院や検査院、はり・きゅう師・マッサージ師の施術を受けるときは、健康保険の対象となるのは一定条件を満たす場合に限られていますので、下記まで、対象となるかご確認ください。また、交通事故など第三者によってけがしたり、病気になり保険証を使って受診した場合は、必ず傷病届を提出してください。

お問い合わせ先 久留米市健康保険課 0942-30-9330



## Ⅱ 被保険者からの意見及び要望

### ○問い合わせ件数（平成26年度）

14件（平成27年2月末現在）

### ○通知や広報に対する主な問い合わせ内容

- ・ 薬が合わないので
- ・ ジェネリックがない薬なので
- ・ 医者と相談して決めているので
- ・ ジェネリックは、十分理解している等



## Ⅲ 久留米市国保の課題と今後の取組み

### 課題 1. ジェネリック医薬品普及率の伸び悩み

**被保険者の声や県政モニターアンケート調査(H26.9)の結果から、安全性に対する不安の声が存在することからも、安心して使用できる効果的な情報提供が必要ではないか。**

**またお薬手帳の活用啓発についても検討していきたい。**



### Ⅲ 久留米市国保の課題と今後の取組み

#### 課題2. 調剤の費用額の伸び

**療養の給付費（入院・入院外・歯科）の過去5年間の伸び率の平均(1.004) に比べ調剤の費用額の伸び率の平均(1.032)が大きいことから、ジェネリック医薬品の普及の推進と並行して、今後の調剤費用の伸びの的確な分析と見通しが必要。**

※（ ）内は平成21年度から平成25年度までの久留米市国保の実績より



## Ⅲ 久留米市国保の課題と今後の取組み

### 課題3. 医療保険制度改革と医療費適正化 (保険者機能の広域化)

平成30年度より、都道府県が国保の財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的な役割を担うことになる(予定)ことから、現在都道府県が取り組んでいる医療費適正化計画の見直しとの整合性がとられ、事業が行なわれることが見込まれる。